

AREA WEB エリアウェーブ

HPアドレス <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/areaweb.html>
E-mail katou-vxkb@pref.yamanashi.lg.jp

峡東教育事務所
地域教育支援スタッフ
TEL 0553-20-2731
FAX 0553-20-2733

「思春期のこころの発達と精神保健」

山梨県立こころの発達総合支援センター主任医長 金重 紅美子 氏

11月22日(木)、峡東地域教育推進連絡協議会(峡地連)は、いちのみや桃の里ふれあい文化館において子育て講演会を開催しました。会場には200名近い方が参加され、思春期の子どもたちへの理解を深めました。以下に今回の講演会の一部抜粋を掲載します。

・・・思春期には、自分自身を少しだけ過大評価して、周りのことを少しだけ過小に評価することで「自分ならできそう」という見通しを持って外に出て行くことができます。ですから、思春期までの間に自信の元、自己肯定感を育てておくことが大切だと思います。幼児期からの親子関係の中で無条件に大事にもらった体験や無条件に受け入れてもらった体験はとても大事だと思いますし、大人に助けられながらいろいろなことが出来た体験も大切だと思います。成長してからは、仲間の中でほどほどにうまくやれたと言うことも「自分はいまよくやれそう」「結構いけるじゃん」という自信になっていくと思います。ですから、健康な自己肯定感を育てるお手伝いが思春期までにできるとよいと思います。思春期になってから周りの大人ができることは、彼らの行動の裏にあるものをよくわかっておいてあげることだと思います。脳が発達の途中で、まだ前頭葉と後ろの脳とのバランスが崩れているので、自分の欲求を抑えたり行動をコントロールするのが難しいこと、だから衝動的だったり、感情にまかせた行動がこの時期に増えること、親と外の世界を往復しながら親離れしていく過程でたくさん矛盾した行動がでること、などを知っておくと、対応に困った時に助けになると思います。

考えてみれば、思春期は親にとっても子どもの独り立ちを受け入れていく、という大きな課題のある時期だと思います。思春期に入ると、今まで全部知っていたと思っていた子どものことが部分的にしか分からなくなってしまって、子どももこっちを向いてくれなくなりますし、親の知らないところで様々なものに触れてきます。そういうものに影響されてきますし、もしかしたら親の知らないところで大変なことになっているのではないかと、と思うと、大事に育ててきた保護者の方ほど、とても苦痛を感じるのではないかと思います。親とは違う、ご本人の選択を尊重することに尽きますが、少し手を離しても、子どもから相談されたり頼られた時には、いつでも相談にのれる一番の味方であることは変わらないと思います。積極的に口を出して良いこととして私の立場で申しあげることがあるとすれば、最優先は日常生活管理、健康管理ということだと思います。心身の健康を害するほどに様々な活動をしてしまったり、そこまで悩んでしまったりと言うことは避けて欲しいので、親御さんが積極的に口を出して良いことがあるとしたら、日常の健康管理、たとえば夜は眠ること、きちんと食事を摂ること、のような基本的なことだと思います。・・・

本年度の峡地連の講演会はこれで終了となります。お忙しい中ご参加いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。アンケート結果等を踏まえながら来年度もより良い講演会を企画していきたいと思っております。引き続き、ご参加くださいますようお願い致します。

カラー版をご覧ください

『エリアウェーブ』はカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。是非ご覧ください。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開いて下さい。

ご意見ご感想をお寄せください

『エリアウェーブ』のご意見・ご感想・取材情報をお寄せください。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙右上の連絡先にご連絡下さい。



エリアウェーブ
ホームページ



お問い合わせ先

夢に向かって

青少年健全育成推進甲州市民集会

11月8日(木)午後6時30分から甲州市民文化会館で上記集会が開催されました。まず始めに「家庭の日」「青少年を育む日」啓発作品の表彰式が行われ、続いて市長賞を受賞した作文の発表がありました。小学生1名、中学生1名の発表でしたが、2人の作文に共通していたのは、父母の病を通して父母への愛情が育まれたことと、その中で「今も手伝いを続けている」、「自分が支えていく」という意志の成長が見られたということでした。苦しい中でも明るく力強さを感じさせる姿に感動しました。子どもは凄いです。その後、北京オリンピックバドミントン日本代表の廣瀬栄理子氏による「夢へ向かって」という講演会が行われました。オリンピック代表になれるかどうかの直前に大腿筋断裂の大怪我を負いながら懸命にリハビリに取り組み、オリンピック出場の夢を実現させた廣瀬さんの前向きで逞しい生き方に勇気をいただきました。



地域の子どもを見守り育てる (大会宣言より)

11月17日(土)、山梨市子ども・若者育成支援推進大会が山梨市民会館で開催されました。大会では、「家庭の日」啓発作文コンクール優秀作品15名の表彰が行われ、4・5・6年生の最優秀作品が朗読されました。「ボロ車の購入と家族旅行から、モノより家族との思い出が大切だと思ったこと」「亡くなった祖父が育てたブルーベリーの木を家族で守っていくこと」「幼い頃の写真をきっかけにかけがえのない家庭の時間を大切にしていくこと」と、それぞれが家族を繋ぐ思い入れのあるものを取り上げながら、家族への想いを語りました。また、少年の主張山梨県大会の最優秀賞(中学3年生1名)・優秀賞(中学3年生2名)も朗読されました。それぞれ「言葉に心を込める大切さ」「看護師になる夢への強い意志」「同調圧力に対する疑問」についてを語りました。記念講演では「性的マイノリティの子どもと支援 入門編」と題した講演が行われ、LGBTの理解と対応について考えました。

山梨市子ども・若者育成支援推進大会実行委員会



勸学院【峡東教室】で楽しみましょう!

10月23日(火)に第32回勸学院祭がコラーニー文化ホールで開催され、峡東教室は、1年生と2年生41名が9月から計7回の練習を重ねた『ミュージカル 浦島太郎』を甲州弁の台詞と迫真の演技で披露しました。会場からは笑い拍手が鳴り止みませんでした。また、本年度の勸学院祭のテーマには峡東教室1年の沼田豊子さんの『いつまでも学ぶ楽しさ 笑顔の輪』が選ばれました。

勸学院では文学、歴史、社会、経済、環境、健康など幅広く講義や体験講座を年間25回開講します。峡東教室の生徒さんは楽しく、元気に受講しています。まもなく、平成31年度の募集が始まります。入学をお待ちしております。



勸学院祭の舞台発表

平成31年度生徒募集

山梨ことぶき勸学院(峡東教室)では、平成31年度入学生を募集します。詳しくは下のQRコードからホームページをご覧ください。下記にお電話でお問い合わせください。



【問い合わせ先】

山梨ことぶき勸学院
(峡東教室担当: 仙洞田)
TEL 055-233-6947
甲府市東光寺2-25-1



1・2年合同
グラウンド・ゴルフ



老人ホームでの
ボランティア



研修旅行



お正月飾り作り



展示発表会



釈迦堂遺跡博物館

アメリカからのお年寄りと一緒に

10月22日(月)の放課後、芦川小学校にアメリカから、12人の高齢のお客様が旅の途中に立ち寄りました。体育館に入ってきたお客様が「Hello!」と声をかけると6名の児童が「ハロー」と応えました。交流会では3つのグループに分かれてそれぞれのグループで自己紹介をしたあと、折り紙で折り鶴や兜を作りました。児童や先生方は、言葉(英語)や動作で折り方を楽しそうに教えていました。折り紙のあとは、児童が鉢巻きと法被を身にまとい太鼓の演奏を披露しました。日本の伝統楽器での歓迎にお客様はみな喜び、カメラのシャッターを切っていました。一方、お客様からは「You Are My Sunshine」のコーラスの返礼もありました。また、児童らからお客様の旅の無事を祈って千羽鶴の贈り物もありました。この学校にアメリカからの高齢の旅行者が訪問するのは今年度4回目、年度内にあと3回予定されており、継続した交流活動が実践されています。

芦川小学校



ふるさとを愛する心を育む

11月4日(日)、今年で10回目を迎える「ふるさと学習」を実施しました。地域を再発見するべく学年毎に6つのコースに分かれ、9名のボランティア講師の方々の協力の下、親子で地域を歩き、臨地学習を行いました。5年生は校庭から西に向かい、用水路の水門、昔はメインストリートだった温泉場、源泉の場所などのお話を聞きました。続いて廣友館の脇から「塩の山自然遊歩道」へと向かい、「塩の山」の由来や標高、赤松のお話を聞きました。遊歩道を抜けると、向嶽寺の境内に入りました。寺を火災から守るために「秋葉神社」が建てられたこと、国の重要文化財「中門」は度重なる火災の中で残ったこと、中門に掛けられた「鹽山」の文字、国宝「絹本著色達磨図」、大仏様は千野で流行した疫病を治めるために建てられたこと、童謡「花かげ」など向嶽寺の歴史について学びました。「花かげ通り」を東に向かい、「お妻さん地蔵」を見守りながら学校へと戻りました。散策しながら塩北小の全ての子どもたちはふるさとへの愛着が沸いたことでしょう。

塩山北小学校



ブラインドサッカー

岩手小学校

11月27日(火)、岩手小学校は児童や教職員、保護者、地域住民の皆さんが参加される中、福祉講話を開催しました。講師には山梨ブラインドサッカークラブ代表の栗木二仁(くりきにひと)氏をお招きしました。サッカーの選手として活躍していた栗木さんは35歳で全盲となり、その後、友人の勧めでブラインドサッカーと出会ったそうです。現在の生活には不自由さはあるものの、便利な機器のおかげで読書やショッピングなどを



楽しんだり、いろいろな人に手を差し伸べてもらったりしながら生活しているそうです。児童はアイコンタクトの取れない栗木さんに、返事や合図の拍手で受け答えをしていました。講演に続き、ブラインドサッカーを体験しました。まず、アイマスクを付けて目が見えない状態のパートナーを誘導する体験をし、それからブラインドの状態でペナルティーキックの体験をしました。締めくくりには、栗木さんから「勇気を出して障がいのある人に声をかけてあげて欲しい。そして、会話をして欲しい。会話がなければ互いの気持ちが伝わらない。」とメッセージが送られました。児童らは真剣な表情で受け取っていました。

税金って何？

御坂東小学校

11月29日(木)、御坂東小学校において6年生の租税教室が行われました。講師の東京地方税理士会甲府支部の前田さんからは、税金の種類、税金で作られる公共施設などのお話がありました。自分の住む地域に必要な公共施設を考える活動、消費税の納税の仕組みを知る活動など、体験活動を交えて楽しく税金の仕組みを学びました。まとめでは、税金をきちんと納めることと共に、税金が正しい使われ方をしているかチェックすることの大切さについても学びました。



いのちの授業

御坂中学校

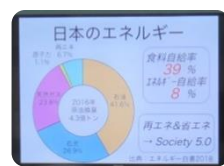
11月9日(金)、御坂中学校で1年生を対象に「いのちの授業」が行われました。講師を務められた山梨県助産師会の佐藤和子先生は人が生まれるまでの過程を解説し、「あなたはたった一つの大切な宝物。頑張ってきてきたのだから大切にしよう。」と訴えました。生徒たちは先生の質問に答えたり、赤ちゃん人形などを抱っこして体感したりしながら、命がかけがえのないものであることを再認識しました。また、先生からは第二次性徴期を迎えている中学生が抱えるだろう様々な悩みに応えるアドバイスも送られました。保護者の方々も参観され、授業後には、佐藤先生と笛吹市の廣野保健師から保護者に向けてのお話がありました。親子で命の尊さを学ぶ貴重な機会となりました。なお、笛吹市では、この授業を全ての中学校で実施しているそうです。



夢・ときめきサイエンスラボ

一宮中学校

11月14日(水)、一宮中学校で山梨科学アカデミーによる「夢・ときめきサイエンスラボ」が二年生を対象に実施されました。人力、風力、太陽光、燃料電池のそれぞれによる発電を体験するとともに日本のエネルギー事情について学びました。また、現在の自動運転のレベルと今後の見通しについても学び、どのレベルが適当か考えました。講義の最後には「いろいろな角度で見たい。ハッと気づく瞬間を大事にして欲しい。継続は力(エネルギー)なり。科学技術とうまく付き合っていきたい。」と物事の見方や科学との関わりを学びました。



小中学校合同音楽会

峡東地域小中学校

笛吹市は10月24日(水)石和スコアセンターで、東山梨地域は10月25日(木)甲州市民文化会館で、それぞれ小中学校合同音楽会が開催されました。各学校の代表児童生徒達が、合唱や楽器演奏を披露しました。小学生の元気の良い歌声や中学生の洗練された合唱、リコーダーの音色、太鼓の響き、吹奏楽やマーチングなど、各学校とも日頃の練習の成果を十分に発揮し、芸術の秋にふさわしい音楽鑑賞会となりました。



児童生徒が意見交換

東山梨地区小中学校

11月13日(火)、塩山中学校体育館で東山梨地区「子ども・保護者・教職員の会」が開催され、各校の児童会、生徒会役員が一堂に会して、児童(生徒)会活動について話し合いを行いました。小学校は3分科会、中学校は2分科会の合計5分科会に分かれて、提案校からの活動報告をもとに意見交換を行いました。提案校は自分たちの活動に対する他校からの評価が分かり、他の学校は他校の取り組みを知ることで刺激を受けました。また、中学校の分科会では各校で成果があった取り組み事例や、生徒会活動で困ったことについての意見交換も行われました。保護者の感想発表では「中学生は頼もしかった。小学生も真剣に積極的に話し合っていた。今後も続けて欲しい。」と賞賛され、激励が送られました。



笛吹祭

ろう学校

10月6日(土)ろう学校で笛吹祭が開催されました。今年の学園祭は「～ろうスマイル～」をテーマにみんなでアイデアを出し合い、協力し合い、創り上げました。学芸発表では、支援部、幼稚部、小学部、中学部、高等部がそれぞれ発表を行い、可愛らしい演劇や笑いを誘う大喜利で楽しませたり、逞しい成長を感じさせる語りやダンス、書道パフォーマンスを披露したりと観客に感動を与えてくれました。午後には模擬店や展示発表も行われ、他校に引けを取らない充実した内容でした。また、中学校や高校の生徒もボランティアとしてイベントを支え、老人ホームのお年寄りも観覧に来校しました。



ふれあいフェスタ笛吹

笛吹高校

すっかり秋の風物詩となったこのフェスタが、晴天のもと今年も11月3日(土)に開催されました。午前10時開始にも関わらず、すでに9時にはグラウンドには多くの車が駐車され、開門を待つ人の長蛇の列ができていました。来場者は幅広く、小さな子どもを連れた親子からお年寄り、ご近所の方やOBの方など様々でした。生徒達や先生方、PTAの皆さまもそれぞれの持ち場で忙しく準備を整え、10時の販売開始の放送とともに、一斉にオープンとなりました。自分たちが丹精込めて育てた野菜や果物、花を、あるいは工夫を凝らして調理したパン、ビスケット、ジャム、味噌などを、威勢のいい呼び込みもあれば、明るく爽やかで誠実な接客で販売していました。また、おでんや焼きそば、カレー、うどんなどの軽食を校舎の軒下や自転車置き場の特設フードコートで楽しむ方々もいらっしゃいました。バンド、太鼓、呈茶、輪投げ、ボウリングなどのアトラクションもフェスタを盛り上げました。生徒達が地域の人々と交流する、活気に満ちたふれあいの場でした。



地域活性化プロジェクト2018

塩山高校・甲州市

11月7日(水)、甲州市役所において塩山高校3年3組26名の生徒が地元甲州市の地域活性化について行った探究活動の報告会を行いました。報告会には甲州市長をはじめ甲州市役所各課の課長が出席されました。テーマは子どもの外遊びの状況や塩ノ山ウォーキングマップの作成、地域における甲州ワインの普及活動、認知症の理解と多岐に渡っていました。生徒達は日頃抱いている地域への問題意識をもとにアンケート調査などの研究を行い、考察しました。さらにマップやチラシなどの成果物を作成、配付するなど実践活動も行いました。報告を受けた市職員の方々からは感謝の言葉が送られたり、新たなヒントが提示されたり、有意義な意見交換の場となりました。今後も地域の活性化に向けて、このプロジェクトがさらに発展していくことを願います。



本年度、県の社会教育関係の研修会において峡東地域における活動実践報告がありましたので、ご紹介いたします。6月28日の放課後子どもプラン第1回指導者研修会においてNPO法人学びの広場ふえふさ理事長・曾根修一様が「笛吹市における放課後の取り組みについて」、7月31日の社会教育指導者研修第2回研修会において日下部公民館館長・小笠原浩様が「地域の絆づくりに向けて」、12月5日の山梨県公民館活動研究推進大会において山梨市三富公民館長・大澤正様と諏訪公民館主事・荻原まゆみ様が「地域特性に応じた地区公民館運営について」と題して、それぞれ素晴らしい発表をされました。





桃花台学園

本校は、軽度の知的障害生徒を対象とした高等部のみの特別支援学校です。

産業技術科

農業生産コース

野菜の栽培管理を通して、働くために必要な責任感や態度等を育成しています。今年度は交流として、5月に石和東小学校へ行き、1年生にサツマイモの植え方を教えました。日頃学習したことを人に教えるという貴重な経験となりました。11月には、収穫したサツマイモでスイートポテトを作り、お礼の手紙とともに本校に届けてくれました。



環境メンテナンスコース

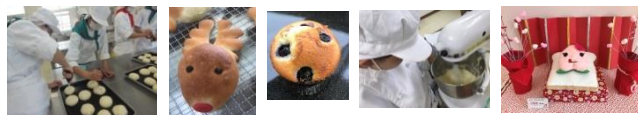
清掃や花壇の整備・管理などのサービス業に関する実習を通して、企業就労に必要な知識や態度等を育成しています。校内だけでなく、「出張業務」として校外での実習を年間25回程度行い、実践的な応用力が身に付くようにしています。今年度は木工の実習にも取り組み、竹を加工した「バンブースコップ」を商品化し、販売しました。



食品加工コース



パン、焼き菓子の製造を通して働くために必要な力（衛生管理、適切な態度、コミュニケーション能力、技術力等）を育成しています。パン、焼き菓子、ワッフルなど業務分担し、リーダーを中心に業務の流れ、目標を確認しながら、正確に、丁寧に、時間どおりに進めています。マーケットでは、農業生産コースで育てた野菜や果物を使ったパンを開発・販売したり、給食や寄宿舎のパン、企業への納品を行ったりするなど、商品の品質向上を目指し努力しています。



昨年度リニューアルオープンした「桃カフェ」では、コーヒー、紅茶、ジュースなどのドリンクと、各月のコンセプトに合った焼き菓子を提供しています。店内の装飾や、サービスなど、お客様が季節を感じながら快適に過ごせる空間作りとおもてなしについて、カフェ班のメンバーがアイデアを出し合い、準備、運営を行っています。明るく元気な接客も心掛けています。

部活動

TOKADA!

本校の部活動は、
バスケットボール部・サッカー部
合唱部・美術部・太鼓部
陸上同校会があり、それぞれ
大会等に向けて取り組み、
活躍しています。

